



そねっ子

2024. 12. 24.

11・12月号 I



曾根小 HP

2学期後期のメモリアル 1



今年も、子どもたちの頑張りが ☆キラリ☆ 輝いた2学期80日間でした。
子どもたちが元気に毎日を過ごせたこと、そして、日々の学習活動や運動に加えて、
運動会や学習発表会、生活科・社会科見学、修学旅行など一つ一つの行事を終えるたび、一人一人の大きく
成長していく姿が見られたこと・・・本当に充実した2学期だったように思います。

学習発表会

10月30日（水）校内学習発表会があり、各学年の発表をお互いに鑑賞しました。

そして、11月1日（金）学習発表会本番！おうちの方や地域の方々に、頑張りを歌声と音に乗せて届けました。

子どもたちは、この学習発表会に向けた取組においても多くのことを学んでいます。音楽的な技能はもちろんですが、何よりも、どんなことにも粘り強く一生懸命に努力することの大切さ、本気の努力を感じ取る感性も学んだことと思います。加えて、友達と互いに認め合うこと、たくさんの仲間と一つのことを成し遂げる喜びと充実感・・・このような体験（プロセスと成果）を重ねていくことで、豊かな人間性は培われていきます。 子どもたちのあいさつから始まり、子どもたちの感謝の言葉で終わる「子どもたちの発表会」・・・発表会後の、子どもたちの満足で誇らしげな表情がとても印象的なよい発表会となりました。



低学年



中学年



高学年



今学期も 地域の方々をはじめ たくさんの方々に大変お世話になりました

出前講座・地域ゲストティーチャー学習支援

5年生は、9月の総合学習「防災教室」に続いて、11月15日（金）南区西包括支援センターより、社会福祉士の立花さん、藤原さん、『曾根チームオレンジ』代表の宮本さんを講師としてお招きし、「認知症サポーター養成講座」を行いました。子どもたちにも、認知症を正しく理解し、認知症の人や家族に対し温かい目で見守る応援者として成長していったほしいという願いが込められており、5年生の子どもたちは真剣に話に耳を傾け、自分たちの身近な生活を振り返ることができていたようです。

また3年生は、総合学習で「地域との関わり」に目を向けた学習を進めており、地域の多くの方々にゲストティーチャーとしてご来校いただき、お話を聞きました。

- 11月13日（水）「曾根のお米作りについて」（山本さん）
- 19日（火）「演劇・劇団活動」（歴史新大陸：後藤さん）
- 28日（木）「青バト隊の活動」（小寺さん）
- 12月 5日（木）「駐在所の仕事」（曾根駐在員：川口さん）
- 11日（水）「読み聞かせの活動」（きらりん☆さん6名）



お礼の手紙



12月17日（火）には3・4年生が、地域の老人クラブの方々にご来校いただいて「わら細工を楽しむ会」を体育館で行いました。

藁を使って作られた「お飾り」のいろいろやその作り方を知るとともに、藁をなう難しさなどを体感・・・まさに曾根地域ならではの「生きた学習」となりました。

「地域を知る」「地域を学ぶ」「地域を愛する」といった学びに深く繋がることのできる取組です。

「おいしいね！ソーネ！太陽農園」サツマイモの収穫

11月12日（火）朝、5月初旬に植えた学校農園「おいしいね！ソーネ！太陽農園」のサツマイモの収穫をしました。今年も大豊作、大きさも収穫量もBIG！中には顔くらいの大きさのものもありました。曾根保育園の園児も招待しましたが、小学生も園児も心から収穫を楽しんでいて、子どもたちの表情がとても印象的なひとときでした。

整地、耕作、植付から収穫まで、お力添えくださった地域の皆様に深く感謝を申し上げます。

